

町長の行政報告

畑作物の生育及び 収穫状況について

小麦について7月末から刈り取りが始まり、8月上旬収穫が完了しております。収量については粒の肥大が良好で現在、製品の乾燥調整を行っているところでありますが、推定で10[㍗]あたり9.5俵ぐらいになりそうとのことであります。

甜菜は移植後の天候不順により生育が心配されましたが、7月以降の天候回復により現在生育は平年並みと良好であります。

スイートコーンにおいては8月19日から早生品種の収穫が始まり例年より若干早めの収穫開始のため収量は落ち気味ですが、これから収穫の中生、晩生品種の収量に期待するものです。

その他畑作物については昨年より順調に生育

している状況で収量も期待されるところですが、収穫時の天候が心配であります。

飼料作物のうち、牧草については一番草サイレージは昨年より2割程度の収量増で栄養価は高い傾向にありました。

デントコーンについては9月1日調査では熟期が平年の3日程度遅れの状況であり、現在の生育状況では収穫時期は9月下旬となりそうであります。



「国保病院夜間診療 休止に係る経過」 について

国保病院の運営については昨年相次ぐ医師、看護師の退職により、従来の診療体制を維持することが困難な状況となり、町民の皆様には不安とご不便をお掛けしているところであります。

昨年8月末で、整形外科の宮城副院長が退職したことにより、9月以降は後任医師を迎えることが出来ず、現在まで外科診療は非常勤医師による診療を行っているところであります。

招聘医師につきましては、札幌医大を中心とした地域の医療課や地域医療振興財団、又、様々な人脈を頼りに探し

ているところであります。特に札幌医大にしましては、週末の当直に

いる方が、月に一度ないし2ヶ月に一度見えられております。

その際には何度かお会いし、当病院の現状をお話しし、派遣要請をしていただいております。また、病院長にも来院の都度、札幌医大の情

報収集等をしていただいております。しかし、札幌医大につきましては、この9月に教授選があり、人事等に関しては教授選以降、動きがあると思われま

「遠軽厚生病院の産 婦人科医師不足問題 の状況」について

現在、遠軽厚生病院の産婦人科は医師3名の診療体制ですが、今月一杯をもって旭川医大からの派遣医師2名

が引き上げ、更に副院長である産婦人科医師も退職する意向を固めておりますので、3名の医師が不在となり産婦人科を休止せざるを得ない状況となっております。

本町におきましては、現在、遠軽厚生病院で妊婦検診を受けている方はなく、ここで出産する予定であった方はいない状況であります。今年度のこれからの妊婦の出産予定としましては、紋別市が3名、旭川市が2名、函館市が1名で計6名となっております。これから

は初産婦などの方は遠紋地域以外の病院に通院せざるを得ない状況となります。今後、初産される方々に対しましては安心して出産できるよう、保健師を通じて旭川・北見・名寄などの産婦人科との連携を取って参りたいと考えております。